

道後温泉付近散策案内

「愛媛県松山市の見所はどこ」と聞かれると何処を思い出しますか。
道後温泉、松山城は有名ですがそのほかにも見所は多々あります。バスガイドさんが連れて行ってくれないところを歩いてみませんか。松山在住の道後周辺を知り尽くした暇人が推薦する散策コースを紹介します。

道後周辺のんびり散策コース

(松山の通になった気分を味わえるコース)

鷺谷墓地	秋山好古の墓見物
↓	約7分 580歩
道後温泉本館と又新殿	日本最古の温泉と皇族専用湯殿、有料施設入浴料 400円から
↓	約3分 200歩
円満寺	湯の大地蔵という白塗りの地蔵尊あり
↓	約5分 430歩
宝厳寺	ネオン坂の奥にある一遍上人の誕生地
↓	約4分 300歩
伊佐爾波神社	松山の神輿と奉納額見物
↓	約5分 430歩
湯神社	道後温泉の湯の神様
↓	約4分 340歩
放生園	足湯とからくり時計 1時間ごとに開演
↓	約1分 60歩
道後温泉駅	レトロな駅舎と坊ちゃん列車を見ながら記念撮影
↓	約6分 350歩
松山子規記念博物館	月曜休館 有料施設 入場料 400円
↓	約2分 90歩
湯釜薬師	道後温泉の旧湯釜
↓	約4分 300歩
道後公園 湯築城跡地	低い展望台あり
武家屋敷	月曜休館 無料施設

※ホテルから出発し、道後公園園内一周をしてホテルまで帰ると約2時間半のコース。

秋山好古の墓地（鶯谷墓地）

司馬遼太郎の「坂の上の雲」の登場人物

安政6年1月7日生（陰暦）昭和5年11月4日永眠享年71歳

伊予松山（城下）に松山藩士・秋山久敬、貞の三男として生まれる。

陸軍士官学校卒業、フランスへ渡り、騎兵戦術の習得に努める。

満州の野で世界最強の騎兵集団（コサック兵）を破り日本騎兵の父と云われた。退役後は私立北予中学校（現在の愛媛県立松山北高校）校長就任



道後温泉本館と付帯設備

1890年、道後湯之町の初代町長として伊佐庭如矢（いさにわゆきや）が就任した。この頃、町の最大の懸案は、老朽化していた道後温泉の改築であった。伊佐庭は町長就任に際して、自らは無給とし、その給料分を温泉の改築費用に充てる。当時の小学校教員の初任給が8円の時代である。

1994年に国の重要文化財（文化施設）として指定された。

料金 「神の湯階下」（400円） 「神の湯2階」（800円） 「霊の湯2階」（1200円） 「霊の湯3階個室」（1,500円）

又新殿（ゆうしんでん） 日本で唯一の皇室専用浴室。御影石の最高級品・庵治石を使った浴槽の他、控え室、トイレ等が見学可。写真右が入口

振鷲閣（しんろかく） 太鼓（刻太鼓）を鳴らす場所。朝6時の開館時および正午、午後6時に鳴らされる。

円満寺

弘仁3年（812）の建立といわれ、阿弥陀如来を本尊とする。

湯之大地蔵尊 大地蔵は道後温泉に来た僧行基が楠の大木に彫ったものと伝えられている。この地蔵さまは名が多く、湯の地蔵、延命地蔵、あるいは火除け地蔵といわれる。

仮名の詩碑 芭蕉の門弟の一人、各務支考は芭蕉の17回忌（1710）に京都の双林寺に、仮名文の供養費を建てて、芭蕉を賛えた。当寺の仮名詩碑は、支考の門人臥牛洞狂平が師にならない

支考の25回忌（1755）に建てたものである。仮名詩碑は全国に3基（4基？）しかない貴重な碑で、新体詩の原点と言われている。



宝蔵寺



宝蔵寺（ほうごんじ）は愛媛県松山市道後湯月町にある時宗の寺院で、時宗開祖一遍の生誕地。山号は豊国山。寺号は詳しくは豊国山遍照院宝蔵寺と称する。愛媛県指定史跡。寺伝では天智天皇4年（665年）、越智守興が誓願院として創建したという。平安時代中期、天台宗寺院となる。木造一遍上人立像 室町時代・文明7年（1475年）作 重要文化財（国指定）

佐爾波神社（いさにわじんじゃ）

御祭神 神功皇后（じんぐうこうごう）、仲哀天皇（ちゅうあいてんのう）、応神天皇（おうじんてんのう）

道後にある伊佐爾波神社、135段の石段を登ると社殿がそびえ建っています。古くから、湯月八幡神社と呼ばれていたところ。もともと、この神社は現在の道後公園、伊佐爾波岡にありましたが、1335年、河野氏が湯月城を構えるに際して現在の所に移されました。



河野氏が湯月城を構えるに際して現在の所に移されました。社殿は1667年第三代松山藩主松平定長によって作られました。定長は時の将軍に流鏑馬を命じられ、金的を射止めれば石清水八幡と同じものを建てます、と神に祈りますと、見事に適中。願いが叶えられた定長は京都の石清水八幡、大分の宇佐八幡と並ぶ荘重な八幡造りの社殿を建立したといひます。八幡造りとは本殿と拝殿が連結されているのが特長です。正面から見ると神明造りのように見えますが、横に廻ると同じ建物が二つ並んでいます。本殿、申殿及び廊下、楼門、廻廊、境内社、石灯籠は国の重要文化財に指定されています。また伊佐爾波神社で有名なものは20枚を超える和算の額。江戸時代には数学の問題を額にかいて寺社に奉納するのが習慣になっていたといひます。

湯神社



別名、湯月大明神。また、四柱の神を祭るため、四社大明神とも、さらに、伊佐爾波神社の西にあるため、西宮とも呼ばれる神社。湯神社は、景行天皇の御代の創建。舒明天皇の行幸に際し、社殿を新築。往古、当地の東二町の鷺谷にあったが、温泉の埋没のため、現在地・冠山にあった出雲岡神社境内に遷座した。

出雲岡神社の創祀は不明だが、出雲の神を祀った岡（冠山）の神社の意味だと思われる。湯神社が、その境内に遷座し、後に相殿となる。宝永四年、地震により出湯が停止したため、湯神社で出湯の祈禱が行われ、再び現在のように温泉が出たという。その功により、湯神社は境内社から、出雲岡神社と対等の、同一境内別社となったが、明治以後、湯神社を主とする神社となった。

温泉地の守護神としては、湯神社の方が相応しいのだろう。湯神社のあった鷺谷は、鷺が痛めた足を温泉に浸して治療したという場所。鷺は、道後温泉のシンボルにもなっている。

主祭神は、大己貴命と少彦名命。二神が、国土開発のため当地を訪れた時、少彦名命が病み倒れてしまったが、大己貴命が、その身体を湯に浸したところ回復したという。

本殿の両脇に、三穂社（事代主命 蛭兒命）と八幡若宮社（大鷓鴣尊）。他に、一遍上人の父・河野七郎通廣を祀る児守社（神大市姫命 鎮疫神 河野七郎通廣）がある。

坊っちゃんカラクリ時計と足湯（放生園）

坊っちゃんカラクリ時計は、道後温泉駅の正面（放生園）にあります。カラクリ時計は、道後温泉本館の振鷺閣をモチーフにした時計で、軽快なメロディにのって時計台がせり上がり、夏目漱石の小説「坊っちゃん」の登場人物が現れます。その横には足湯があり、いつも多くの観光客が利用しています。



■上演時間・・・8:00～22:00（1時間ごと）、特別期間は30分ごと

■特別期間・・・3月20日～5月30日、7月20日～9月30日、11月20日～1月30日



足は第二の心臓と言われております。

「足湯」には血行を良くし、疲れを癒すなど健康増進の効果が
あります。心地よさに包まれながら、眺めるカラクリ時計…。

坊っちゃんとマドンナがあなたを歓迎します。お湯のぬく
もりとともにあたたかな街の情景も感じてください

道後温泉駅

道後温泉への最寄駅であり、観光案内所がある。坊っちゃん列車の終着駅であるため、引き上げ線で坊っちゃん列車の機関車の方向転換が見られる。駅舎は1911年（明治44年）建築の旧駅舎が明治洋風建築そのままの外観で復元されており、周辺の景観形成に寄与している。夜間ライトアップあり。



観光の拠点駅であり、職員が常駐しているが、改札はなく、運賃収受は他の電停と同様に車内で行う。駅舎内に、「坊っちゃんショップ」というみやげ物店、二階には「坊っちゃん茶房」という飲食店と、オープンカフェがある。

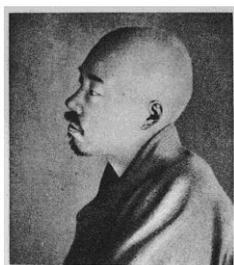
坊っちゃん列車

坊っちゃん列車（ぼっちゃんれっしゃ）とは、非電化・軽便鉄道時代の伊予鉄道に在籍した蒸気機関車（SL）および、そのSLが牽引していた列車のこと。夏目漱石の小説『坊っちゃん』の中で、軽便鉄道時代の伊予鉄道が「マッチ箱のような汽車」として登場しており、四国・松山の中学校に赴任する主人公の坊っちゃんがこれに乗ったことから、坊っちゃん列車と呼ばれるようになった。



2001年より、伊予鉄道により松山市内の軌道で復元運行（ただし動力はディーゼル機関）されており、以後はこちらの方を指すことが一般的である。道後温泉駅で方向転換がおこなわれます。

正岡子規記念博物館



「松山市立子規記念博物館」は、正岡子規の世界をとおして、より多くの人々が松山に親しみ、松山の伝統文化や文学についての認識と理解を深め、あたらしい文化の創造に役立てることを目的として開設された文学系の博物館です。子規について知識がなかった方も、短いながらも激動の時代を走り抜けた彼の生涯を知ること、知らず知らず子規の世界にのめりこんでしまうはずです。館内のスペースでは、新時代を生き、明治をつくった子規の全体像をわかりやすく説明するため、実物資料をはじめ、レプリカ、パネルなどの資料を使い、ストーリー仕立てで彼の生涯を紹介しています。

また、随所に映像コーナーがあるので、子規についてあまり知識のない方でも大丈夫！わかりやすい解説映像を見ながら彼の生涯を辿っていきます。

また、展示資料と観覧者を結ぶ助言者として、インストラクターが質問や相談に応じ、館内を案内してくれるサービスも！

親交のあった夏目漱石ら文人と交わした書籍なども展示。中には愚陀佛庵の一室も展示されています

子規の生涯は36年という短いものでした。しかし、子規の生き様は壮絶そのもの。彼は死ぬ二日前まで、病におかされながらも作品を発表し続けましたといわれています。

また、子規には夏目漱石などの多くの支えてくれる仲間がいました。その仲間達とともに俳句を中心とした近代文学に多大なる功績を挙げたため「近代俳句の父」と言われ、彼の死後100年以上経過した今日でも、子規を慕う人々は後をたちません。

子規の生き様や人柄を知ること、私たちが学び取れることは多いはずです！

湯釜薬師



道後の温泉で使われていた日本最古の湯釜 **【愛媛県指定重要文化財】**
一遍上人が自ら彫った「南無阿弥陀仏」の文字が残る。

湯釜は温泉の湧出口であり、道後温泉本館が建つ前の温泉場で使われていた。この湯釜は奈良時代の天平勝寶年間(741-757)年間に造られた日本最古のもので、道後温泉本館が出来る迄、約1150年間、絶えること無く湯を噴出していたと言う。直径166cm、高さ157cmの円筒形。花崗岩製。

道後公園（湯築城跡地・武家屋敷）

歴史

1886年：道後植物園を設置

1888年：植物園を廃止し県立道後公園を設置 1953年：園内に愛媛県立道後動物園を設置

1987年：動物園を伊予郡砥部町に移転させるため廃止（翌年に愛媛県立とべ動物園が開園） 2002年：湯築城の復元整備、「湯築城跡」として国の史跡に指定される



1 道後公園の概要

（1）公園概要

道後公園の地形は、直径約350mのほぼ円形状で、中央部は30m程度の高さの丘陵地となっています。公園全域が、中世伊予の守護河野氏の居城として、14世紀前半から16世紀後半にかけての250年間存続した城跡であり、堀や土塁（どるい）など城の地割（じわり）が当時の姿のままよく残っています。外周は湯築城の外堀で囲まれ、丘陵部を取り巻くように内堀が巡っています。

この公園は、地元住民や観光客の散策や休息の場として利用されているほか、桜の名所となっており、多くの方が花見などに訪れ広く親しまれています。公園の一角には松山市立子規記念博物館があり、正岡子規の俳句、短歌、小説、水彩画などのほか、松山と関わりの深い文化人などの資料が収集・展示されており、松山の伝統文化や文学についての認識と理解を深めることのできる場となっています。

このように道後公園は、時代とともに地元住民や県民のニーズに合わせて様々な改廃が行われ、平成14年（2002年）4月には、旧動物園区域を中心に文化財を生かした公園としてリニューアルオープンしました。また、同年9月愛媛県内で9番目の国指定の史跡「湯築城跡」となりました。



武家屋敷（復元）

